

# 80歳までに3人に1人<sup>\*1</sup>が発症！？

## 带状疱疹を予防するために



■監修者

名古屋共立病院 院長  
堀 浩

資格

日本内科学会 認定内科医  
総合内科専門医  
内科指導医  
日本循環器学会 循環器専門医  
日本医師会 認定産業医

皮膚のかゆみや痛みを伴う発疹が急に出て、日常生活に支障をきたすおそれがある「带状疱疹」について、名古屋共立病院の堀浩院長にお話を伺いました。

\*1 Shiraki K. et al. Open Forum Infect Dis. 2017; 4 (1) : ofx007.

\*2 国立感染症研究所感染症疫学センター, IASR. 2018; 39(8): 129-130.

### Q 带状疱疹は何が原因？

子どもの頃にほとんどの人がかかったことがある水ぼうそうのウイルスが原因です。水ぼうそうの症状が治まった後もウイルスは神経に潜んでいて、加齢に伴い免疫が低下したり体調を崩したりしたときに、带状疱疹として発症します。50歳以上になると発症率が高くなり、80歳以上は3人に1人が発症するといわれています。

### Q どんな症状がある？

小さな虫刺されのようなものができていたら、带状疱疹の初期症状かもしれません。皮膚のかゆみやピリピリ・ズキズキといった痛みを生じます。神経に沿って発症するので、体の左右どちらかに生じるのも特徴です。一番多いのは、胸からお腹にかけてです。

### Q 特に気をつけたい体の場所は？

目の周りと耳のところは特に注意

### が必要ですか？

目のところに出るものは視力障害を生じる可能性がありますし、耳は顔面神経麻痺を合併したり、聴力障害を合併することもあります。

### Q 治療法は？

発症したら早めにウイルスを抑える薬を飲むことが大切です。通常、2週間から1か月ほどで発疹は治まり、痛みやかゆみもなくなります。

### Q 带状疱疹を予防するにはどうすればよいのでしょうか？

普段から疲れないようにするとか免疫力を高めることが何より大事です。規則正しい生活習慣や適度な運動を心がけていただくとういことです。

また、50歳以上の人は带状疱疹の予防接種を受けることができます。带状疱疹の原因となるウイルスは、9割<sup>\*2</sup>の人が持っていますので、ほとんどの人が発症するリスク

を持つているということになります。

予防接種は带状疱疹を完全に防ぐものではありませんが、たとえ発症してしまっても重症化を防ぐことができます。接種ができない人、あるいは注意を必要とする人もいますので、接種についてはかかりつけ医にご相談ください。

### ●医師からのメッセージ●

早期に治療をしないと痛みが残り、日常生活に支障をきたす可能性があります。可能な方は予防接種を受けてもらった方がよいと思います。

### 带状疱疹ワクチン

は 名古屋市から助成があります

※当院にて接種の場合

費用 21,600円 (2回接種分)

※同じワクチンで2回接種が必要です。  
(2回目は2か月から6か月以内に接種)  
※上記金額は、費用助成後の金額です。

対象 満50歳以上の方

※带状疱疹ワクチンは現在2つの製品があり、金額・条件が異なります。  
詳しくは名古屋市の带状疱疹ワクチンサイトをご確認ください。

